

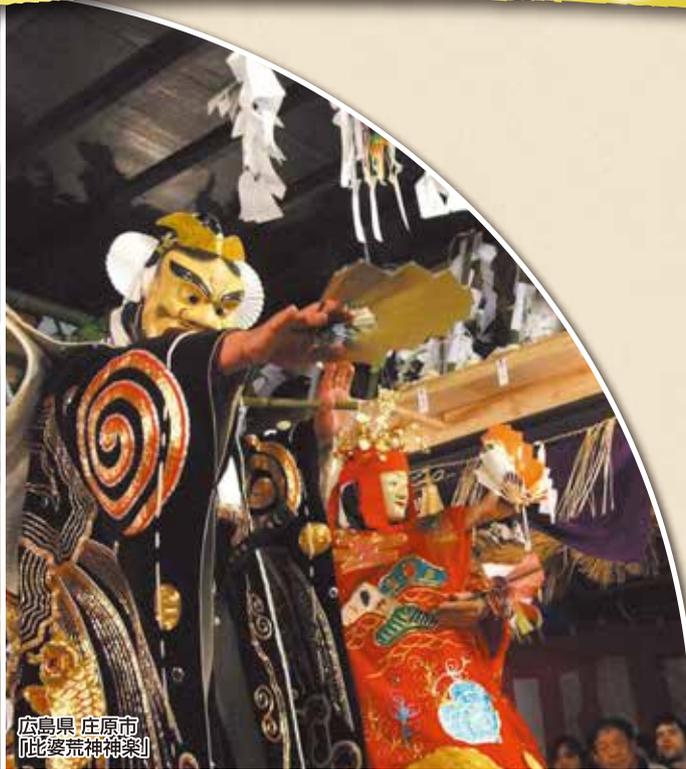
冬号

伝統芸能

日本の祭り



愛知県 東栄町
【花祭】



広島県 庄原市
【比婆荒神神楽】



新潟県 糸魚川市
【青海の竹のこらかい】



長野県 飯田市
【陸山の霜月まつり】

いま、出かけよう！
日本の心を感じる祭典へ！

古来より、その地に根付く歴史と伝統を今に伝える祭りとして、先人たちより受け継がれてきた、芸術と技能がここにある。

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogeino.or.jp>

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



歴史と伝統の継承。 日本の魂をつなぐ祭り と伝統芸能

実施日 毎年1月第3日曜日
2016年は1月17日(日)

福井県 敦賀市
敦賀西町の綱引き

実施日 毎年10月第1土曜日、11月第3土曜日
今年(2016)は10月3日(土)…新見市矢田
11月21日(土)…東城町奴可神社

広島県 庄原市
比婆荒神神楽

実施日 毎年1月20日
2016年は1月20日(水)

福岡県 みやま市
幸若舞

2 11月 / 比婆荒神神楽 **P3**

10 1月 / 幸若舞 **P6**

6 1月 / 青海の竹のからかい **P4**

8 1月 / 敦賀西町の綱引き **P5**

実施日 毎年1月15日
2016年は1月15日(金)

新潟県 糸魚川市
青梅の竹のからかい

新潟県 糸魚川市
青梅の竹のからかい

地域伝統芸能賞受賞祭事を中心に選出しています

実施日 毎年1月1日、3日、6日
2016年は1月3日(日)…女鹿のアマハゲ
1月1日(金・祝)…滝ノ浦のアマハゲ
1月6日(水)…鳥崎のアマハゲ

山形県 遊佐町
アマハゲ

山形県 遊佐町
アマハゲ

4 1月 / アマハゲ **P4**

5 1月 / 石井の七福神と田植踊 **P4**

7 1月 / 一之瀬高橋の春駒 **P5**

3 12月 / 遠山の霜月まつり **P3**

1 11月~3月 / 花祭 **P3**

9 1月 / 陀々堂の鬼はしり **P5**



目次

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 …… P1・P2
- ① 花祭 …… P3
- ② 比婆荒神神楽 …… P3
- ③ 遠山の霜月まつり …… P3
- ④ アマハゲ …… P4
- ⑤ 石井の七福神と田植踊 …… P4
- ⑥ 青海の竹のからかい …… P4
- ⑦ 一之瀬高橋の春駒 …… P5
- ⑧ 敦賀西町の綱引き …… P5
- ⑨ 陀々堂の鬼はしり …… P5
- ⑩ 幸若舞 …… P6

愛知県
東栄町はな まつり
花祭

実施日

毎年11月上旬～3月上旬
 今年は11月3日(火)…東栄フェスティバルから
 3月5日(土)…布川集会所まで順次開催

舞は地域により約40種類あり、夜を徹し行われる様は圧巻!

「テホヘ テホヘ」と夜を徹して練り上げられる花祭は、冬に衰えた大地の精霊の復活を期す祭りで、鎌倉時代末期から室町時代にかけて、熊野の山伏や加賀白山の聖によってこの地に伝えられたとされています。

昭和51年(1976年)に国の重要無形民俗文化財に指定され、毎年11月上旬から3月上旬にかけて町内11ヶ所で約40数種の舞を夜を徹し盛大に行われています。

その形態は多様ですが、拍子や舞式等の違いから、大きく「大入系」と「振草系」に分けられますが、「小林」のように両系統と趣が異なる地区もあります。また、明治初期に行われた廃仏毀釈の影響を大きく受け、神道化した地区もあります。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

車：三遠南信自動車道「鳳来峡IC」より151号線を北上

東栄町 花祭ホームページ

<http://www.town.toei.aichi.jp/hana/top/top.html>

広島県
庄原市ひば こうじん かぐら
比婆荒神神楽

実施日

毎年10月第1土曜日、11月第3土曜日
 今年は10月3日(土)…新見市矢田
 11月21日(土)…東城町奴可神社

全国的に珍しい神がかりの神事を残す神楽

比婆荒神神楽は、庄原市東部の東城・西城地域で行われる本山三宝荒神に奉納する祖霊信仰の神楽です。この地方には中世の名残り「名」のかたちがあるまま残っており、本山三宝荒神は「名」全体の祖霊神とされ、守護神・産土神としての性格をもつことから、その信仰は非常に厳しく、毎年行う小神楽と式年の大神楽がありますが、特に大神楽は名内の人々が最も盛大に厳粛に行ってきました。

また、この神楽は鎮魂の要素を残しているのが特徴といわれ、特に託宣(神がかり)の神事を伝えていることは全国的に貴重な存在とされ、昭和54年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

大神楽は、小当屋に荒神を迎え、湯立神事や土公神、荒神関係の祀りを行い、その後大当屋に移り、「七座神事」、「神能」(八重垣の能・国譲りの能・岩戸開・大社・荒神・日本武など)をはじめ五行舞、神懸りと託宣、竜押し、荒神送りなどを執り行ないます。七座神事での舞は古来よりの形式を残した雅やかで華麗かつ勇壮、そして荘厳なもので、なかでも邪気払いの舞である「猿田彦舞」での長刀猿田は圧巻です。また七座神事の最後の舞である「神迎え」の荘厳な舞も特筆に値します。



アクセス

電車：JR芸備線「小奴可駅」下車、徒歩約10分
 JR芸備線「矢神駅」下車、徒歩約10分
 車：中国自動車道「東城IC」より約15分

田森自治振興区公式ホームページ
<http://tamori.comyu.org/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
 お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

長野県
飯田市とお やま しも つき
遠山の霜月まつり

実施日

毎年12月1日～15日
 今年は12月1(水)～15日(水)

古い伝統と古式豊かな祭事が伝承される湯立祭り

遠山の里に古くから伝わる「霜月まつり」は、両部神道による湯立祭りで、清和天皇の貞観年中(859～876)に宮廷で行われていた祭事を模した湯立が、ほぼ原形のままで伝承されているとされています。

この祭りが文献に現れたのは、江戸後期の国学者、本居宣長の「玉勝間」(文化九年刊)です。祭事の移入についても諸説あり、必ずしも明確ではありません。

霜月まつりは、伊勢神宮の内宮湯立の系統をひくもので、おそらく伊勢方面から伝来した神楽に、元和年間にこの地で滅びた遠山土佐守一族の霊を鎮める鎮魂の儀式が後から加えられた、という見方を研究者たちはしています。

いずれにしても遠山の霜月まつりは、古い伝統と古式豊かな祭事であり、昭和54年2月3日、国の重要無形民俗文化財に指定されました。



アクセス

電車：JR飯田線「平岡駅」よりバス約20分
 JR飯田線「飯田駅」よりバス約1時間40分
 車：中央道「飯田IC」より約70分

遠山郷観光協会
<http://www.tohyamago.com/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
 お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

山形県
遊佐町

アマハゲ



実施日

毎年1月1日、3日、6日
2016年は1月3日(日)…女鹿のアマハゲ
1月1日(金・祝)…滝ノ浦のアマハゲ
1月6日(水)…鳥崎のアマハゲ

鬼や翁の面をつけ怠惰を戒め、お年寄りの長寿を願う

「アマハゲ」とは、遊佐町吹浦地区の女鹿・滝ノ浦・鳥崎集落に伝わる民俗行事です。「ケンダン」という藁を何重にも重ねた蓑を身にまとい、鬼や翁の面をつけた若者が、正月に各戸を回って子供の怠け心をいさめたり、お年寄りの長寿を願う行事です。その起源は残念ながら定かではありません。

3集落に伝わるアマハゲは、大筋では共通し、類似している点も多くみられますが、面の表情や家での振る舞いなど、集落ごとに特徴がみられる部分もあります。



●女鹿

電車：JR羽越本線「女鹿駅」下車、徒歩約5分または「吹浦駅」下車、車約5分
車：日本海東北自動車道「酒田みなとIC」より国道7号線秋田方面へ約20分

●滝ノ浦

電車：JR羽越本線「女鹿駅」下車、徒歩約10分または「吹浦駅」下車、車約5分
車：日本海東北自動車道「酒田みなとIC」より国道7号線秋田方面へ約20分

●鳥崎

電車：JR羽越本線「女鹿駅」下車、徒歩約20分または「吹浦駅」下車、車約5分
車：日本海東北自動車道「酒田みなとIC」より国道7号線秋田方面へ約20分

アクセス

遊佐町 ホームページ

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/ou/kyoiku/bunka/8207.html>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

福島県
二本松市

石井の七福神と田植踊



実施日

毎年正月の年重ねの祝いの日
2016年は1月10日(日)

豊作を祈念する東北地方特有の小正月に行われる予祝芸能

元々田舎の小正月の初春に家々を訪れ、演じられていた予祝芸能であり、その年の稲作や養蚕の豊穰を祈願したものです。

主に踊りの形で田植など稲作の耕作過程を模倣的に演じる東北地方特有の田植踊の一つであり、国指定重要無形民俗文化財となっております。

この芸能は七福神が登場した後、田植踊の一行が舞い込む形で行われます。七福神は、歌い手の口上につれて先導役の稲荷が登場し、続いて七福神が次々と舞い込み、道化2人が注連縄と蚕のまぶしを編んで当主に差し出し、稲作・養蚕が順調であることを祈願します。続いて田植踊の一行が登場し、正月の祝い・稲作の過程・秋の取り入れを祝った踊りを踊ります。

今日では正月の年重ねの祝いの席に依頼されて踊っています。



アクセス

電車：JR東北本線「二本松駅」下車、バス約15分
車：東北自動車道「二本松IC」より約18分

二本松市 ホームページ

<http://www.city.nihonmatsu.lg.jp/soshiki/54/304.html>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。
お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

新潟県
糸魚川市

青海の竹のからかい



実施日

毎年1月15日
2016年は1月15日(金)

無病息災と豊年・豊漁を祈願する国指定重要無形民俗文化財

江戸時代から続いていると言われている「青海の竹のからかい」は、糸魚川市大字青海に伝わる全国的にもたいへん珍しい小正月行事で、糸魚川市内に4つある国指定重要無形民俗文化財の一つです。

実施日は1月15日で、実施場所は青海の本町通りです。当日は、大字青海の東町と西町の若い衆などが東方と西方の陣営に分かれ、顔に限取りをし、2本の竹を力強く引き合い、その年の豊漁、豊作を占います。勝敗は竹が引かれたり、折れたり、割れたりした方が負けです。勝った方は、豊年・豊漁になると言われています。その後は海岸で「さいの神焼き」をして新しい年の厄病を払います。

◇竹のからかい 12:30頃～ ◇さいの神焼き 15:30頃～

糸魚川市観光協会公式ホームページ 「青海の竹のからかい」ページ

<http://www.itoigawa-kanko.net/trad/ominotakenokarakai/>

※実施日・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：えちごトキめき鉄道日本海ひすいライン
「青海駅」より徒歩1分

車：北陸自動車道「糸魚川IC」より約15分
※当日の午前9時から午後4時まで、現地は車両通行止めとなります。
※青海総合文化会館と生涯学習センターの駐車場をご利用ください。

山梨県
甲州市

一之瀬高橋の春駒



実施日

毎年1月14日に近い休日
2016年は1月10日(日)

伝統的な小正月の道祖神祭り

山梨県は小正月の道祖神祭りが盛んな地ですが、その中で春駒を舞わすことで知られているのが「一之瀬高橋の春駒」です(国選択無形民俗文化財)。昭和42年にこの伝承が山梨県の無形民俗文化財に指定された時に保存会が結成されていましたが、集落の過疎化が急激に進み、同保存会は平成4年に活動を停止し、春駒の伝承は途絶えました。

これを惜しんだ同地域出身者をはじめ第三者をも含めた一同の努力により、平成17年・19年に復活上演が行われ、また、平成20年には新たな保存会が再結成されました。今日、毎年1月14日に近い休日に、JR塩山駅前の旧高野家住宅(重要文化財)等を祭場としてドウソウジン(道祖神祭り)を再興し、祭礼におけるウマオドリ(春駒)の上演を継続しています。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR中央線「塩山駅」下車、北口より徒歩約1分
車：中央自動車道「勝沼IC」より約15分

甲州市 ホームページ

<http://www.city.koshu.yamanashi.jp/>

福井県
敦賀市

敦賀西町の綱引き



実施日

毎年1月第3日曜日
2016年は1月17日(日)

400年以上前から伝承されてきた大綱引き大会

この行事は「敦賀西町の綱引き」として国の無形民俗文化財に指定されています。「西町」はこの綱引きが行われる通りの古い町名です。

西町は敦賀三十六町の中でも古いまちの一つです。近世には魚市場が開かれ、魚以外にも野菜や雑穀などが商売されて、北國の都とも謳われた敦賀町内の食糧需給を支えるようになりました。綱引きはこの市場に関わる農業・漁業関係者や商業関係者に中から発生した行事とも考えられます。

「敦賀西町の綱引き」は敦賀の年頭を飾る風物詩です。商店や家屋に挟まれた細い路地に大勢の人々が集い、夷子方と大黒方に分かれて長さ50メートル余り、太さ25センチほどの大綱を威勢良く引き合います。

長らく小正月の1月15日に行われてきましたが、休日の改正により1月の第3日曜日に行われるようになりました。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR北陸本線「敦賀駅」下車、徒歩約20分
車：北陸自動車道「敦賀IC」より約10分

敦賀観光協会ホームページ「漫遊敦賀」内 敦賀西町の綱引き紹介ページ
<http://www.turuga.org/places/tsunahiki/tsunahiki.html>

奈良県
五條市

陀々堂の鬼はしり



実施日

毎年1月14日
2016年は1月14日(木)

室町時代から500年続く火の祭典

毎年1月14日、大津の念仏寺陀々堂では500年の伝統を誇る火の祭典「鬼走り」が行われます。燃えさかるたいまつを振りかざした父鬼・母鬼・子鬼が堂内を勇壮に巡り、住民の災厄を払います。鬼が幸いをもたらすのは各地でも珍しく、厳寒の中、多くの参拝者が訪れます。

午後9時、僧達の早口の読経と、火天(カッテ)役による「火伏の行(ひぶせのぎょう)」が始まります。火天の荒行が終わると鬼の登場となります。一番たいまつが、佐役(スケ)の肩に乗せられ、右手に斧を持った赤鬼と共に正面北の戸口に走り出てきます。片腕、片膝でたいまつを受け取った赤鬼は、火の粉を振りまきながら正面中央戸口に歩を進めます。後に、青鬼と二番たいまつが登場します。赤鬼が中央から更に歩を進め正面南戸口で空を睨むとき、北の戸口には茶鬼が現れ三つのたいまつが並び、火祭りは最高潮に達します。三度堂内をまわった鬼は横戸口から境内に降り立ち、水天井戸に礼参りをして行事は終わります。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：JR和歌山線「大和二見駅」下車、徒歩約30分
またはタクシー約10分

五條市 ホームページ

<http://www.city.gojo.lg.jp/www/contents/1143010218687/>

福岡県
みやま市

幸若舞



毎年1月20日
2016年は1月20日(水)



能や歌舞伎の原点ともいわれる重要無形民俗文化財

700年の伝統があるといわれる幸若舞は五穀豊穡を願い奉納される室町時代の舞楽です。発祥の地福岡県越前町でも途絶えて久しく、歌舞伎や能の原点といわれる幸若舞を見られるのは全国でもここだけです。現在も大江地区で九曲の演目が大切に伝承され続けています。独特の節回しで舞われる動きは、武士の華やかさと哀しみを兼ね備えています。

舞は古例に従って皇室よりの五七の桐と陰陽の菊の花の紋に染めた幕を打ち回し、その前に小鼓方が一人床几に掛けて囃し、正面に立烏帽子、素袍上下の太夫、その左右にシテ、ワキが待烏帽に素袍上下で控え、各右手に扇を持ち両手を振り、袖口を折り、上半身をやや前方に曲げ、目は四、五間先方を見つめ、シテとワキは地謡をつとめ、太夫は謡いつつ舞台を足踏み鳴らして前後左右に足を運び、頭はほとんど動かさない武士的気風の横溢するものです。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

電車：九州新幹線「筑後船小屋駅」下車、車約10分
車：九州自動車道「みやま柳川IC」より約10分

みやま市公式観光サイト
<http://www.miyama-kk.com>



「まつりーと」が、あなたの町のお祭りを元気にするお手伝いをします!

たとえば、こんなことにお困りでしたら、ぜひご登録ください。

- 祭り参加者をスムーズに集めたい
- 祭りの担い手が少なくなり、他地域から参加者を募りたい
- 他地域からの祭り参加者を増やして、町を活性化させたい

「まつりーとサイト」で出来る事

- 参加者の募集
祭りへの参加者を募集するため、募集情報を掲載することができ、参加希望者からの情報は、メールにて受け取る事が出来ます。
- 祭り情報、周辺観光情報の掲載
祭りを広く周知するため、祭り情報も掲載することができます。その他、周辺の観光情報等を掲載でき、いつでも更新することができます。

<http://matsuri-sanka.net>

まつりーと事務局(一般財団法人地域伝統芸能活用センター)
TEL . 03-5809-3782 E-mail : support@matsuri-sanka.net

人とまつりと地域をつなげる

まつりーと

まつりーと





宝くじは、 みなさまの 豊かな暮らしに 役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。



一般財団法人

日本宝くじ協会

ホームページ

<http://jla-takarakuji.or.jp/>



平成27年9月30日発行(年4回発行) 発行所 一般財団法人地域伝統芸能活用センター 〒110310004 東京都中央区東日本橋二丁目24番12号 東日本橋横町ビル5階 TEL.. 0315809137 82
ホームページアドレス: <http://www.dentogeiho.or.jp> 制作印刷 テンハン株式会社 〒10410041 東京都中央区新富1-13-21 TEL.. 0313551141 135